ライオンズクラブ国際協会
336－A地区 2R4Z

# 西条

SAIJO LIONS CLUB

2013−2014
4
No. 442

## Topics

第 10 回西条ライオンズ旗争奪西条クラブ招待野球大会
災害用手押しポンプ設置
公立ひまわり幼稚園園庭芝生化事業
各周年記念大会出席報告

2013-2014 年度ライオンズクラブ国際協会会長　バリー・J・パーマー

テーマ　夢を追いかけよう

2013-2014 年度ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区ガバナー　松 前 龍 宗

スローガン　ときめく　明日へ　WE　SERVE

キーワード　「真価発揮」

2013-2014 年度　2R4Z　西条ライオンズクラブ会長　原　育 雄

スローガン　人と大地に優しく　WE　SERVE

# 災害用手押しポンプ設置

【　環境保全・保健福祉・アラート委員会事業実施報告　】

委員長　寺尾信司

平成２６年１月、アラート担当委員会の活動の一つとして「災害時用手押しポンプ」を県立西条高校に設置いたしました。

災害時に西条市民の緊急避難場所に指定されている西条高校が電源喪失時に、水が少しでも使用できるようにと考え、昔懐かしい「手押しポンプ」をグランド内に据え付けました。

平常時には、野球部のグランド整備に使用してもらっています。

緊急時がないことを願っておりますが、『水の都 西条』ならではのアクティビティだと思っています。西条高校に野球の応援にお出かけの際は、是非ご覧になって下さい。

# 第10回西条ライオンズ旗争奪西条クラブ招待野球大会

青少年指導委員会委員長　植木光夫

3 月 21 日（金）第１０回西条ライオンズ旗争奪野球大会が開催されました。本年度参加チーム数は愛媛県内外より２７チーム、選手・保護者を合わせ６２７名の参加となり、小雨ぱらつく中の大会となりました。毎年恒例の「大会初日限定　ライオンズカレー」はおかわり自由ということで、1500 食分の準備をすることになりました。前日の材料仕込み作業に始まり、今年からはゆで卵作り（６５５個）と１３６㌔の御飯を炊く作業が増え、１０回目とはいえ初めての時の様に不安でいっぱいでしたが、メンバーの知恵をかき集め、多くの協力を糧になんとかやり遂げることができました。『　なんと頼もしや！西条 LC 魂！　』
子供達のおいしい笑顔に今年も出逢えたことに感謝、そして前日、当日と朝早くから夜遅くまで多くのメンバー・LL の参加をいただき、心より感謝いたします。

## 第 10 回西条ライオンズ旗争奪西条クラブ招待野球大会開催について御礼

大会主催　西条クラブスポーツ少年団　野間賢次郎

ライオンズクラブの皆様、いつも子ども達の健全育成にご尽力をいただき大変ありがとうございます。今回で１０回目を迎えました西条ライオンズ旗争奪西条クラブ招待野球大会におきましては、物心ともに多大なご尽力をいただきまして大会を成功裏に終了することができました。多少、天候も崩れはしましたが、各球場で白熱の戦いを行うことができ、県下各地より集まった各チームにも大変好評でした。

　また大会初日の昼食には心のこもったカレーをふるまっていただき、「このような大きな大会で温かい昼食は初めてで、大変ありがたかった。」、「おうちのカレーよりおいしい！」と中には５杯もおかわりをした子供がいたとも聞き、大変好評でありました。

子どもたちは未来の甲子園球児、プロ野球選手を目指して一生懸命汗を流しております。

今後とも、お力添えの程宜しくお願い申し上げます

## 公立ひまわり幼稚園園庭芝生化事業

本年度、原会長のスローガン「人と大地に優しく」のもと、私たち青少年指導委員会では「ひまわり幼稚園園庭芝生化事業」に取り組んでまいりました。芝生化のメリットと言えば裸足でかけまわることにより土踏まずの形成に有効であったり、足の裏を刺激することで脳の発育が促されると言われています。また、転んだり、遊具からの落下時の怪我の低減にもつながります。

そして小規模ではありますが地球温暖化防止、土埃の防止にも役立ちます。今回は予算の関係で園庭の一部分にはなりましたが、園庭のトラック内・遊具下・靴脱ぎ場の 3 箇所約 330 ㎡の芝生化事業を実施いたしました。春休みに入る直前の３連休、3 月 21 日から業者の方に芝張りを行う部分の土のすき取り作業をしてもらい、3 月 23 日にはメンバーによる芝張り作業を行いました。そして 3 月 25 日には園児と保護者も参加していただき、西条市より菊池教育長をお迎えして、記念セレモニーを行いました。

委員会事業としては無事に終了しましたが、芝生がきちんと生えそろうまでは見守っていきたいと思います。

### 完成セレモニー

日時：2014 年 3 月 25 日（火）10：00～　於～公立ひまわり幼稚園

# 松山ホストライオンズクラブ60周年記念大会

第二副会長　髙橋　学

去る 3 月 1 日（平成 25 年分の確定申告期ど真ん中）の小雨降る中、松山国際ホテルに於いて松山ホストクラブ 60 周年記念大会が開催されました。

当クラブを代表して「伊藤正己第一副会長」と「第二副会長の私」が記念式典・祝宴に参加して参りました。会場となったホテルに到着するも、大会の看板や案内人が見当たらず、一度通り過ぎてしまいました。

記念式典の印象としては、歴史の重みを感じたことです。

「来賓祝辞」に、スポンサークラブとして「神戸ホストライオンズクラブ」が紹介され、第 61 期会長が祝辞を述べられました。（８期も年上です）

なお、我が西条 LC のスポンサーである新居浜ライオンズクラブがエクステンションクラブとして紹介され、西条 LC は松山ホストライオンズクラブの孫に当たるのかと歴史を感じました。

祝辞の中に「ライオンズクラブの奉仕に終着点はない」と、心に残る一言を聞き、大会に参加したことを感謝しております。

祝宴でのアトラクションは、太鼓の演奏、愛媛新聞社音楽部の演奏など、他の LC と似た感じのものでした。

最後に結成 60 周年という月日は、私の年齢よりも上で、尚且つ「伊藤正己第一副会長」と同い年です。第一副会長がそのまま、「松山ホストライオンズクラブ」だと思うと、すごく歴史を感じずにはいられません。

東京に我が国初のライオンズクラブが立ち上がり、横浜・神戸へとエクステンションされ、翌年全国５番目のクラブとして松山の地にライオンズクラブが根付いたそうです。

336－A 地区に日本で５番目に誕生したクラブがあることに感動しました。

我がクラブも一年一年と歴史を刻み、決して追い抜くことはできませんが、「ライオンズクラブの奉仕に終着点はない」を肝に銘じて、活動を続けて行きたいと思いました。

松前ガバナー並びに中村県知事による祝辞

めでたいアトラクションで会場は盛り上がりました

ライオンズクラブの未来

# 今治中央ライオンズクラブ50周年記念式典

テール・ツイスター　清水泰雅

桃の節句も過ぎ、寒さも少し緩んだ３月９日、今治中央ライオンズクラブ結成５０周年式典に執行部３人、会員委員会委員長の伊藤修一郎Ｌと４ZC、神野顕彰Ｌの５人で参加してきました。３００人を超える盛大な式典で、３年前の西条ライオンズクラブの５０周年記念式典を思い出しました。　チャーターメンバーで、大正１３年生まれの村上正郎Ｌが式典で流されたDVDや、記念誌の中で非常に興味深いことを述べられていました。

孫子は、状況に合わせて水のように自分を変えるべきで、状況が自分に合わせてくれることはないと説いていたようですが、「掛け声は大きくても実績で行き詰まり、あるいは停滞を感じたら、転向点に来ていると考え、進路を変えなければならない。新しい進路は未来予測に従うべきで、またその進路を進むためには自らを変えなければならない。未来が読み切れず、或いは読めても新しい進路への挑戦が不安で自らを変えられない人は、過去のピークの再現を考え、或いはその延長線にこだわる。だが、時代の変化と自身の姿勢とのギャップは広がるばかりで、停滞からの脱出はますます難しくなる。人口も減っていく今後は、ライオンズは奉仕事業を自己完結的にすべて自分でやろうとせず、地域ぐるみの選択と集中をコーディネートすることがベストではないだろうか。」

個人的には、今はついていくのが精いっぱいの状況で、未来のことは考える余裕はないですが、大先輩の言葉として心に刻んでおこうと思います。

村上Ｌは、「地域にある様々なボランティアグループとジョイントすべきだと思う。そうしたグループをライオンズに引き込もうとの話もあるが、それは彼らの特性を失わせることになるかもしれない。組織の維持管理コストの低い、自発性の強い、規制は緩く団結は強いボランティアグループは地域の宝。パートナーとして尊重し、協力すべきであろう。」とも書いておられます。

今の西条ライオンズクラブは、経験豊かな方々が引っ張って、活発な活動がしっかりできていると思いますが、いずれこういうことを考えなければいけない時がくるかもしれないと感じ、大変勉強になりました。

イノベーション（革新）の時代がボランティアの世界にも来そうです。

今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願いします。

前進

# 新居浜別子ライオンズクラブ25周年記念式典に参加して

幹事　高橋雅顕

3 月 15 日(土)、新居浜別子ライオンズクラブ 25 周年記念式典に 4ZC 神野Ｌ、会長　原Ｌ、会計伊藤Ｌ、テーマー　花山Ｌ、会員委員長　伊藤Ｌの 6 名で参加して参りました。

山田　強会長の挨拶から始まり、続いて中村愛媛県知事、石川新居浜市長、白石　徹(会員)衆議院議員の力強い挨拶がありました。

次に、記念事業の発表に移り、25 周年記念事業として、水野真紀さんの語りで行われた日本神話への誘いの様子を説明していただきました。

一宮神社がライトアップされ雅楽の演奏とも相まって幻想的な雰囲気の中、語り舞台は、暫し現実を忘れさせるような感覚をもたらしていました。

神話を神社で聞けるというのも有りそうでなかなか無い企画で面白いと感じました。

祝宴では、モモクロの歌と踊りを披露した、子どもたちのダンスのうまさにびっくりでした。

また、白石 徹さんは、音楽に精通しておられるだけあって、「島人ぬ宝」を新居浜バージョンの替え歌にして、聞かせてくださいました。

新居浜別子ライオンズのみなさん 25 周年、本当に、おめでとうございました。

# 第3回ゾーンレベル会員委員会並びに第3回地区ガバナー諮問委員会開催報告

日時：2014 年３月１日（土）17：00～　於～西条市立西条図書館２F

現代は激しく IT 化する社会環境の中でバーチャル化という問題がある。人の感性と効率重視のしのぎ合いである。その対応は LC にとっても早い対応が必要かと思う。この度の家族会員増強の背景にもそのことが大いにうかがえる。マニュアルにしてもその変更を余儀なくされている。各クラブは今後、自クラブの個性と自覚を基に、何が地域に貢献出来うるのか？を例会等を通じて会員の自主自覚を基に取り組むことが肝要と思う。（４ZC　総括より）

# 会　員　短　信

## 第５２回 愛媛マラソン 完走

### 「愛あるランナー、笑顔でゴール！」

盛實正人

2014 年 2 月 9 日（日）に開催された愛媛ランナー最大のイベント「第52回愛媛マラソン」が、松山市の県庁前から旧北条市で折り返し堀之内にゴールする 42.195 キロの公認コースで行われ、過去最多の 8236 人が伊予路を駆けました（当日気温 7℃）。

内、7459 人がゴールし完走率 90.6％、その完走した１人になることができました。

これまでマラソンの経験はありませんでしたが、50 歳代のフルマラソンは、まだ「走れる」との文字が脳裏に浮んでの初挑戦。完走できるかどうか自信はありませんでしたが、とにかく「出よう」と思った瞬間から「完走」までのプロセスはとても良い経験になりました。

その最初の思いは、何よりも大切で何事にも共通すると思います。何事も諦めず、チャレンジする気持ちはいつまでも持ち続けたいものです。来年も、抽選に当たれば挑戦したいと思います。

皆さん、ぜひ愛媛マラソンに挑戦してください。

走った者しかわからない経験ができます。

「思ったようにはならないが、やったようにはなるもんです。　努力はうらぎらない！」

西条ＬＣが植えた陽光桜です。だいぶ大きくなっていますね。

### 編 集 後 記

早朝に東の山裾から輝く陽光に強い力を、又大地に新しい生命の芽生えを感じる季節になりました。

３年前に「４ゾーン合同アクティビティ」で植樹したさくらの樹【陽光】も日々、すくすくと成長している様に思います。

今年は各ライオンズクラブにおいて、周年事業、式典が多いように感じられます。我々、西条ライオンズクラブにおいても新しいエネルギーを得て、確実に成長したいものです。

PR・広報委員会　明比紳一郎


発行者　会　長　原　育雄
幹　事　高橋雅顕
ＰＲ・広報委員長　村瀬文隆
編集委員　明比紳一郎・塩出正照・國田経仁・合田直司
野間賢次郎・曽我部克正・伊藤隆治・伊藤　稔

例会日　毎月　第２・第４火曜日（12：30～13：30）
例会場　西条国際ホテル
発　行　西条ライオンズクラブ事務局
印　刷　プリントワールド ONO



西条ライオンズクラブ

〒793－0030　愛媛県西条市大町 771－1
西条国際ホテル1 F
TEL(0897)56－3980
FAX(0897)56－9251
E－mail　saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://saijo-lions.org